



### 第3回高島市青少年育成大会 11/23

市内6中学校代表者による意見発表や講演会が行われ、最後に「地域の子どもは地域で守り育てる」との大会宣言が確認されました。  
(高島市青少年育成市民会議)



### 近江伝統文化の祭典 11/17 ～温故知新・音楽と踊り～

市の無形民俗文化財「高島音頭」をテーマにした音楽と踊りが、さまざまな年代・地域の出場者によって表現されました。  
(文化財課)



### どきどきの連続 ～職場体験学習～ 11/8・9、12～16

安曇川中学校2年生4人、高島中学校2年生2人が高島総合病院に職場体験に訪れました。授業では経験することのない学習をして「小さい頃からお世話になってきた病院をよく知ることができた」と、医療現場での初めての体験に目を輝かせ感激していました。  
(公立高島総合病院)



### 紅葉の朽木を訪ねて ～たかしまトライッ子クラブ～

草木の名前をボランティアの人に教えてもらったり、スケッチしたり、紅葉が鮮やかな「朽木いきものふれあいの里」で、秋の野山を散策しました。  
(青少年課)

▲ 標本づくりを体験

### AEDを寄贈いただきました！ 11/29

高島市を拠点として活動されている社会人野球チーム「OBC高島」からAED（自動体外式除細動器）を寄贈いただき、新旭体育館（ふれあいサロンさわか）に設置しました。  
(新旭振興室)



**AED（自動体外式除細動器）とは…**  
血液を流すポンプ機能を失った状態の心臓に電気ショックを与え、正常に戻すための救命装置。  
心電図を自動計測して、必要な方にだけ電気を流します。



あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニュースは皆さんから大募集!! あなたのとびつきりを紹介してください。

### 扇子の華 満開！ 「扇面の美展」 12/8～16



少年(幼年)の部 大賞  
馬場義之信さん  
(広瀬小学校2年)

一般の部(夏扇子) 大賞  
梶原八千代さん  
(愛媛県宇和島市)

一般の部(鴨川扇子) 大賞  
中川和子さん (高島市)

市内はもちろん、友好提携都市である愛媛県大洲市や大阪府守口市などから一般の部227点、少年(幼年)の部447点の応募がありました。  
会場にはたくさんの方が訪れ、会場いっぱい開いた扇子の華を鑑賞されていました。  
(社会教育課)

(注) 地域に暮らす人々が、日々の生活体験の積み重ねを通じて育んでこられたふるさとの思い出やイメージを集約して、絵画によって表現したもの。当時の風俗や街並みを正確に復元することを目的としたものではなく、人の印象に合わせて変形・誇張されている部分があります。



▲ 語り・馬場老人会有志 画・早藤典子氏 滋賀県所蔵 サイズ・240cm×90cm

その手段としてこの絵屏風を大切に活用していきたいと地域の方々も考えておられます。

今回紹介する安曇川町馬場の「ふるさと絵屏風(注)」は滋賀県高島県事務所の「ふるさと湖西再発見調査研究事業」により製作されました。  
一時は100頭を超える馬が集まり、郡(現在「市」)内各地から大勢の人が見物に集まった田中祭りは、七川祭りと並び「湖西2大馬祭り」と称えられ、田中神社の氏子の誇りでした。特に宮元にあたる馬場は、祭りの時期には沿道に多くの露店が並び、参道沿いには棧敷席が設けられ、神社へ向かうのもままならないほどの賑わいであったといわれます。左端中央、灯籠の前を渡るのは嫁入り衣装で張った傘鉾の行列、絵図中央には流鏝馬、駆け馬、神輿のお渡りと、神事の様子が描かれています。青年会の方がくじ引きで祭りの役割を決めますが、流鏝馬に当たった人は祭りの一週間ほど前から行に入り、水垢離を取ったそうので、右下にその様子が、また右上には、秋正月(10月17日)に開催された草競馬の様子が描かれています。  
また、馬場は安曇川からの水に恵まれ、地形も平らで土質も良かったことから、米作りに適した土地でした。絵図中央上部には、家事に使う燃料を取った様子が描かれています。急な坂道に柴を背負って下りてくるのは女性の仕事でしたが、大変な作業であったことが伺えます。しかし、米にも燃料にも不自由せず、恵まれていたと地域の方はおっしゃいます。  
昭和30年代半ばは農作業に耕運機が普及し始めてから馬耕作が減り、それにつれて田中祭りに奉納される馬も急激に減少し、現在馬は流鏝馬の1頭だけになってしまいました。かつての大変盛大な祭りの様子を子どもたちに伝えたいと考えておられる、

シリーズ  
わさとの郷  
その二十四  
絵屏風のふるさと巡り  
ふるさと馬場  
絵屏風